

府中市収集許可業者に対するアンケート及びヒアリング調査結果

1.目的

一般廃棄物収集・運搬業許可業者の視点からみた本市の事業系一般廃棄物の排出を取り巻く現状について明らかにするとともに、許可業者が行っている取組みや抱える課題を把握します。また、ごみの減量化や資源化を進めるための改善点や有効な施策の立案に向け、排出事業者及び行政への要望等を把握しました。

調査結果は、本市の一般廃棄物処理基本計画を策定するための基礎資料とします。

2.調査方法

(1) アンケート調査

府中市内の排出事業者と契約実績のある許可業者 42 社を対象とし、アンケート用紙を郵送による送付、回収を行いました。

実施期間は以下のとおりです。

調査開始日	平成 28 年 9 月 30 日 (金)
回答締切日	平成 28 年 10 月 21 日 (金)

(2) ヒアリング調査

アンケート回答によりヒアリングの協力頂けた許可業者に対して、電話及び訪問によるヒアリング調査を行いました。

実施期間は以下のとおりです。

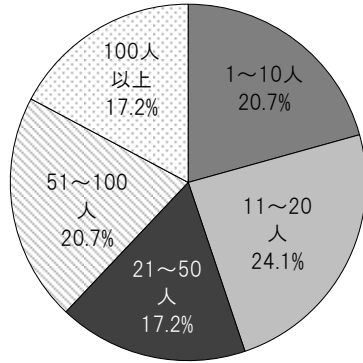
調査期間	電話ヒアリング	平成 28 年 12 月
	訪問ヒアリング	平成 29 年 1 月

3. 調査結果

(1) アンケート調査

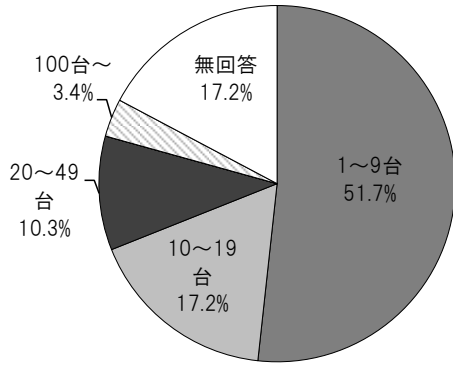
①回収結果（回答数 29 件）

○従業員数 [H28.3 月末現在]



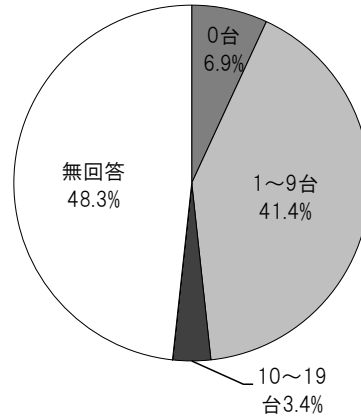
	回答数
1~10人	6
11~20人	7
21~50人	5
51~100人	6
100人以上	5
合計	29

○所有車両



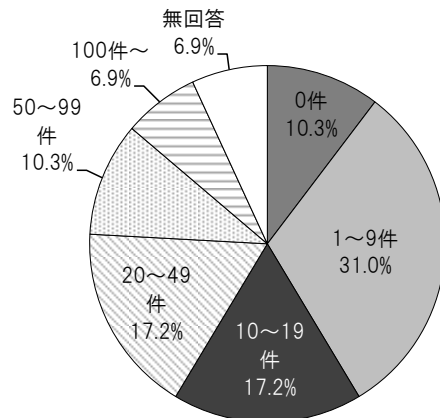
	回答数
1~9台	15
10~19台	5
20~49台	3
50~99台	0
100台~	1
無回答	5
合計	29

うち、資源物の回収車



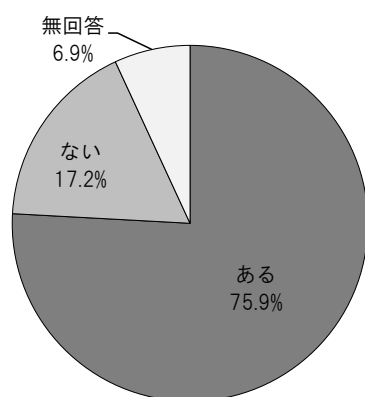
	回答数
0台	2
1~9台	12
10~19台	1
20~49台	0
50~99台	0
無回答	14
合計	29

○契約事業所数



	回答数
0件	3
1~9件	9
10~19件	5
20~49件	5
50~99件	3
100件~	2
無回答	2
合計	29

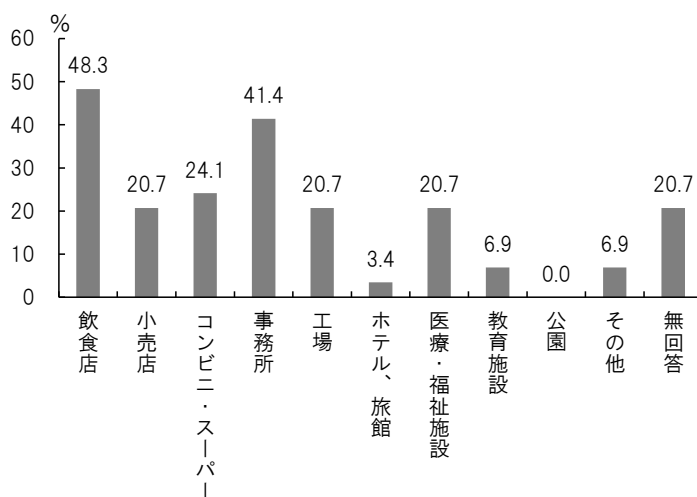
○収集運搬の実績



	回答数
ある	22
ない	5
無回答	2
合計	29

問1. 府中市内における分別収集状況について

①貴社が契約している府中市内の事業所の主な業種について、多いものから3つまで○をつけてください。

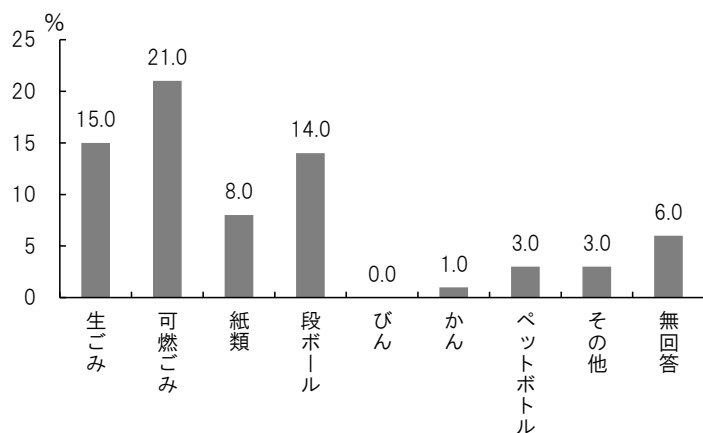


	回答数
飲食店	14
小売店	6
コンビニ・スーパー	7
事務所	12
工場	6
ホテル、旅館	1
医療・福祉施設	6
教育施設	2
公園	0
その他	2
無回答	6

【「その他」の回答】
・競馬場 [昭和建設株]

・各社が契約している事業所としては、飲食店が48.3%と最も多く、次いで事務所が41.4%となっています。

②貴社が契約している府中市内の事業所の廃棄物の内容について、多いものから3つまで○をつけてください。



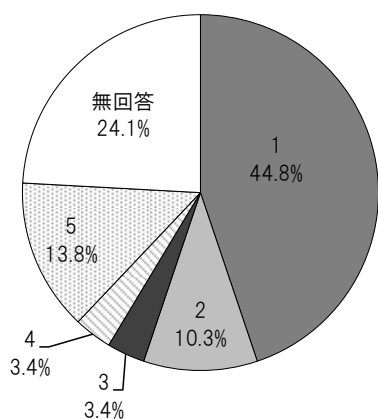
	回答数
生ごみ	15
可燃ごみ	21
紙類	8
段ボール	14
びん	0
かん	1
ペットボトル	3
その他	3
無回答	6

【「その他」の回答】

- ・ プラ・ビニール
- ・ 魚、腸、骨
- ・ 不燃

- ・ 廃棄物の内容は、可燃ごみが 21.0%と最も多く、次いで生ごみが 15.0%となっています。
- ・ 資源物では、段ボールが 14.0%、紙類が 8.0%、ペットボトルが 3.0%となっています。

③貴社では、府中市内の契約事業所が排出した資源物（古紙、びん、かん、ペットボトルなど）の収集を実施していますか。該当するもの1つに○をつけてください。



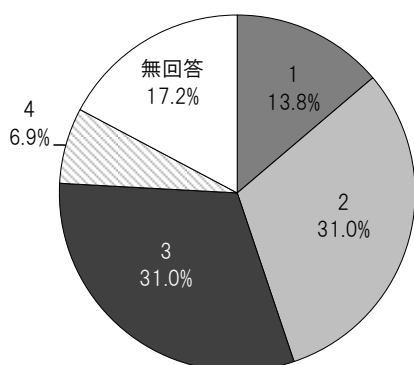
	回答数
1 自社で保有する資源化物専用車両で収集している	13
2 資源物を事業系ごみの収集車両の上などに積み、収集している	3
3 自社では実施していないが、リサイクル事業者等の協力を得て実施している	1
4 実施していない	1
5 その他	4
無回答	7
合計	29

【「その他」の回答】

- ・ 自社の府中市許可車両で収集・運搬している。（産廃車両と兼用）
- ・ 自社で分別してリサイクルしている。
- ・ 時間を別にして、1台の車両で交互に積んでいます。

- ・ 資源物の回収は、「自社で保有する資源化物専用車両で収集している」が最も多く 44.8% となっています。
- ・ その他では、「自社の府中市許可車両で収集・運搬している（産廃車両と兼用）」、「自社で分別してリサイクルしている」、「時間を別にして1台の車両で交互に積んでいる」等の回答があり、個々の会社で状況に応じた対応がされています。

④府中市内の契約事業所から排出されるごみの分別状況について該当するもの1つに○をつけてください。



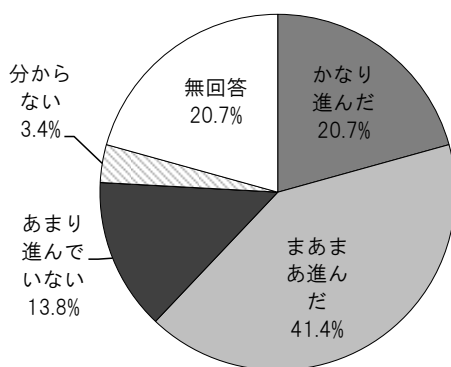
	回答数
1 全体的に分別が不十分	4
2 一部分別が不十分な事業所がある	9
3 特に問題はない	9
4 その他	2
無回答	5
合計	29

【「その他」の回答】

- ・すべて自社で分別して多摩川衛生組合に運搬している。
- ・(可)(不)は、だいたい分別されているが、その中に資源物が多少まざっている。

・個別では「特に問題はない」と「一部分別が不十分な事業所がある」が最も多く31.0%となっていますが、「全体的に分別が不十分」と「一部分別が不十分な事業所がある」を合わせると44.8%となっており、分別が十分に行われていない状況にあると考えられます。

⑤府中市内の契約事業所の分別に対する意識や取組はこの5年間で進んだと思いますか。該当するもの1つに○をつけてください。

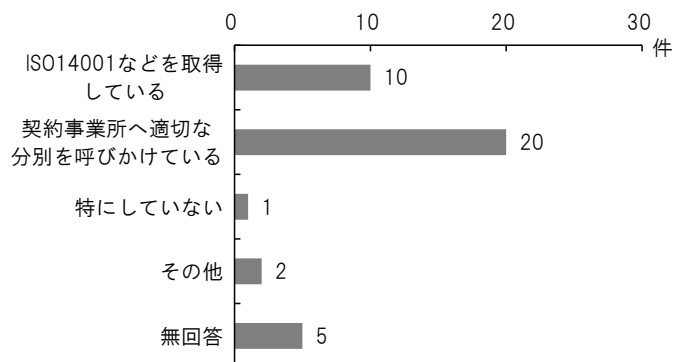


	回答数
1 かなり進んだ	6
2 まあまあ進んだ	12
3 あまり進んでいない	4
4 全く進んでいない	0
5 分からない	1
無回答	6
合計	29

・「かなり進んだ」と「まあまあ進んだ」を合わせると62.1%となり、半数を超えています。

・分別意識の向上は見られるものの、「あまり進んでいない」や無回答等もあり、一部で進んでいない業種があるものと考えられます。「あまり進んでいない」と回答した許可業者は4社ですが、契約している業種を見ると「飲食店」(3件)、「コンビニ・スーパー」(2件)、「医療・福祉施設」(2件)等となっています。

問2. 貴社の事業活動について排出業者への分別推進のためにされていることについて該当するものすべてに○をつけてください。



【「その他」の回答】

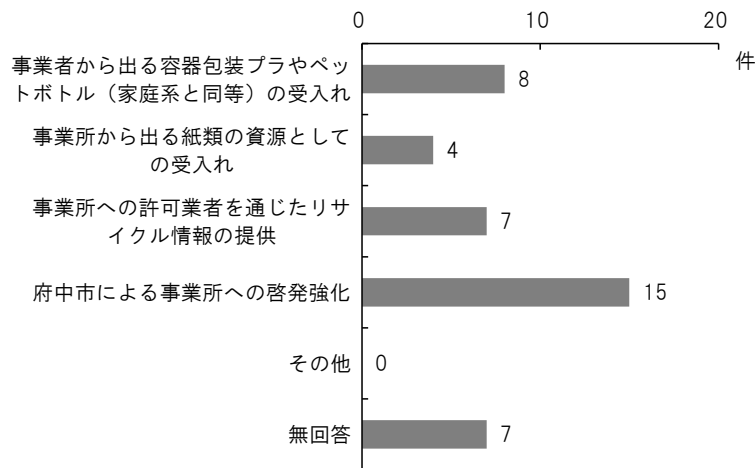
- ・国内版 ISO14001、エコアクション 21 を取得し活動。
- ・請求書にチラシ等入れている。

- ・「契約事業所へ適切な分別を呼びかけている」と回答した許可業者は 20 社あり、多くの許可業者で分別に向けた取組が行われていると考えられます。
- ・自社における ISO14001 等の取得等についても取り組まれており、環境保全に向けた意識の向上が進んでいます。

問3 収集・運搬についての問題点について、ご自由にお書きください。

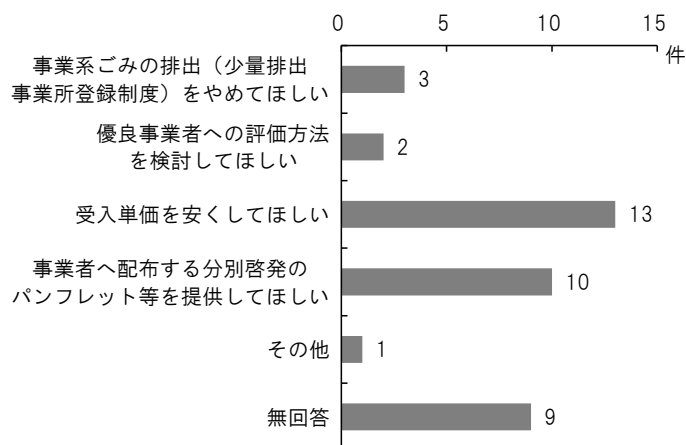
- ・一般廃棄物収集費用の違法料金の打診が目立つ
- ・多摩川以外の処分場の受け入れ単価を平均化してほしい。事業系の袋の料金を上げてほしい。
- ・多摩川衛生組合に搬入時、悪臭がするので改善してほしい。
- ・コスト面から少量の排出先への対応が難しい。
- ・我々収集運搬業者が担う責務は大変重要であり、排出業者へのアドバイス等問題点の改善を促す事も役割として重要だが、正直知識不足などあり日々勉強せねばと考えます。知識を蓄え経験をもっと良く活かし事業活動する事を改めて思うところです。
- ・年末年始を休まない取引先が増えているので（車両台数が足りなくなる等）、多摩川衛生組合さんの休みを少なくしてもらいたい。お客様にお願いはしていますが、場所がない等なかなか保管してくれない。
- ・処分場の受入時間の延長（12:00～13:00 も受入してほしいです。）
- ・府中市から事業所への分別指導の強化。
- ・生ごみを回収する時、袋に対して重量が多いと袋が破れるなどして中身が漏れ出し作業が増す事がある。
- ・特になし
- ・問題点はありません。
- ・特に問題ありません。

問4 事業系一般廃棄物の3Rを進めていく上での問題点について、該当するものすべてに○をつけてください。その他にもご意見があればお書きください。



- ・「府中市による事業所への啓発強化」と回答した許可業者が15社と最も多く、市による積極的な情報提供や指導が求められています。
- ・「事業者から出る容器包装プラやペットボトル（家庭系と同等）の受け入れ」や同じく「事業所から出る紙類の資源としての受入れ」といった回答もあり、資源物の受入を求めた要望が多くみられます。

問5 府中市への要望について、該当するものすべてに○をつけてください。その他にもご意見があればお書きください。



【「その他」の回答

- ・少量排出事業所登録制度は可燃ごみだけにしてほしい。

- ・「受入単価を安くしてほしい」と回答した許可業者が13社と最も多くなりましたが、「事業者へ配布する分別啓発のパンフレット等を提供してほしい」との回答も10社あり、排出事業所の分別や適正排出に向け、許可業者側にも行政と協力しながら啓発等に取り組む姿勢が見られます。

(2) 電話及び訪問ヒアリングの結果

電話及び訪問ヒアリングをお願いした結果、多忙な中、多くの許可業者の皆様がご協力頂きました。皆様からは、概ね以下のような回答が得られました。

① 排出事業者別の分別排出の状況について

- 各事業者側の分別排出の意識は向上しており、特に事業所では独自の工夫で資源化を進めるなどの取組を行っている所も見られる。
- その他の事業者を含め分別排出に関して業種による大きな問題はないが、コンビニ及び飲食店を顧客としている許可業者からは、分別が他業種と比較して悪い傾向が見られる。これは、各店舗を利用する顧客が排出者となることによると考えられる。

② 市への要望について

- 排出事業者向けへの分別協力については、独自に分別方法に関する資料を作成提供しているが、市側主導の事業者向けの分別パンフレットを作成し、提供してほしい。
- 顧客である排出事業者に対してはどうしても立場的に弱いため、市の指導という後押しがほしい。
- 処理費用の価格が周辺自治体より高く、排出事業者処理費用と運搬費用を含めた費用負担に対して理解を得ることが難しい。
- 処理費用は本来排出事業者と行政側に発生するもので、運搬費用のみを分離することはできないか。現状では排出事業者の倒産等のリスクを許可業者側が負担している。
- 処理費用を下回る価格で収集している許可業者がいる可能性がある。市側は調査の上で厳格に指導してほしい。
- 処理施設の費用の改定等を知らない排出事業者がいる。市側は事業者への周知を随時進めてほしい。

4. まとめ

許可業者は、処理施設への最終的な搬入者であるため、分別が不徹底のものは搬入できないことから、許可業者側でも各排出事業者への分別排出を随時お願いしており、近年の排出事業者等の分別排出も非常に良好な傾向が見られます。各事業所側でのリサイクルについても様々な工夫とともに積極的に進められています。しかしながら、ごみ排出源が各事業者の顧客に当たる飲食店やコンビニでは一度排出されたものを再分別することができないことから、総じて分別が悪い傾向が見受けられます。

また、多摩川衛生組合における処理費用や分別ルール等の変更情報が市内の排出事業者に十分周知されていないため、排出事業者への情報伝達を許可業者が行う場合が多く見られるようです。許可業者の立場から見ると排出事業者は顧客であり、例えば、処理費用増額に伴う価格交渉についても許可業者が行うこととなりますが、多摩川衛生組合における処理費用が周辺地区と比較して高額であるなど、事業者の理解は得られにくい状況も見られます。

さらに、廃棄物処理法を逸脱した収集が行われている事例もあるとの懸念事項を持っている許可業者もあり、これらに対する行政側としての状況確認や場合によっては指導が必要であると考えられます。